

安全対策について

岡山県マーチングバンド協会・岡山県バトン協会

1. 目的

大会における会場管理の安全を期し、不測の事態による人的災害等を最小限に軽減することを目的とする。

2. 予防体制

- ①各担当者は、それぞれのポジション内の整理について特に注意し、不必要な物は置かないようにする。
- ②開場 1 時間前に役員・委員及び係員全員で、消火器所在等の会場内事情を確認するとともに、不審物・危険物の有無の点検を徹底的に行なう。多少でも疑わしき物があった場合には、大会本部に各担当者を通じて連絡すること。
- ③大会本部にて、不審物・危険物等、疑わしきものの現状を確認後、ホール管理事務室に連絡し、係員より処理のための指示を受ける。
- ④開場 30 分前に再度確認する。
- ⑤大会当日の天候、気温の状況により、体調不良者の発生を防ぐために、暖房、冷房の使用を大会本部で検討、決定する。

3. 緊急事態発生の場合

①火災発生の場合

- ア. 火災発生の発見者は、直ちに初期消火体制をとるとともに、各担当責任者に連絡すること。
- イ. 各担当責任者は大会本部に通報し、大会本部はホール管理事務室に連絡する。
- ウ. 消防署または警察署の指示はホール管理事務室と連絡を取りながら、大会本部が受け、各担当責任者に連絡する。
- エ. 初期消火については、各担当責任者が会場内所定の消火器の操作要領を関係係員に確認しておくこと。消防署・警察署に通報後は、自分自身の安全が確保できる範囲で初期消火活動を行う。被害が甚大な場合は、初期消火することなく、来場者の避難誘導を最優先とする。
- オ. 来場者の避難誘導については、大会本部からの連絡（放送）により来場者を混乱させることなく、火元の反対方向に誘導を行なう。避難時は煙の被害を少しでも少なくするため、ハンカチ、タオル等を使用する。

②地震発生の場合

緊急地震速報が出た場合、出演者は客席へ移動して、観客はそのまま客席に待機する。
来場者に対しては、冷静に対処することを放送等で呼びかける。本部の状況判断により、避難を要する場合は各出入口を使って館外に誘導を行なう。誘導にあたっては、ホールスタッフの指示を受ける。

③けが人・病人等発生の場合

- ア. 参加団体内部で対応ができないけが人・病人が発生した場合には、各担当責任者を通じて大会本部に通報する。本部は必要に応じて救護係員を現場に向かわせる。
一般来場者の場合も同様とする。
救護係員は医療関係の知識がある者がこれにあたり、大会総務部の管理下で大会本部内に待機するものとする。
- イ. 救護所は、会場内救護室に設置する。軽傷のけが等の対処のために、大会本部内に救急箱を準備しておく。
- ウ. 必要がある場合は、大会本部が救急車の出動を要請し、ホール管理事務室に連絡する。